

PIONEERS SUPPORT (深五中生支援)

深五中・地域学校協働本部

地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行います。

第9回地域学校協働活動 12/8(金) 15:45~17:00

生徒会・パイオニア隊と Collaboration 『花いっぱい運動』の報告

1. 参加者 生徒 55名(1年13名、2年14名、3年28名) Tulip flower bed in spring!

職員多数、コーディネーター3名、地域ボランティア

2. パイオニア隊(ボランティア)に参加して

1年 学校や地域をよりよくできるように協力したくて参加したが、これからもパイオニア隊を続けていきたい。パイオニア隊として活動することの大切さや仲間と協力してやり遂げることの大切さを学ぶことができた。みんなが協力的に参加していてパイオニア隊はいいなと感じた。五中のきれいな花壇作りを実感した。

2年 姉から五中にはパイオニア隊があることを聞いていたが、初めて参加してよい気持ちになることができた。ボランティア活動をしている間に「学校の役に立っている」という実感がわき始めた。水やりも続ける。一度はボランティアをしてみたかったので今回パイオニア隊に参加して活動することができてよかった。他学年の生徒やパイオニアサポートの方々と交流することができてよかった。4月の開花が楽しみ。他のボランティアの方々と一緒に協力することにすごくやりがいを感じている。普段できないことだから。

3年 コロナでなかったパイオニア隊に最初で最後に参加できてよかった。誘ってくれた友だちに感謝したい。今日植えた花が咲くのは卒業した後だと思うけれど時間があつたら見にきたい。I am a pioneer. ボランティア活動をすることがさすがらしく気持ちよいことなんだなと気づきとても楽しめた。パイオニア隊に参加して人生で初めてボランティアというものを体験した。球根が花になるのが楽しみ。1つの行事にも多くの方が大きな期待と思いを抱き、計画を全力で行ってくれていることを改めて知った。ボランティアは無償なんかじゃなくてたくさん得るものがあったのだと気づいた。みんなに喜んでほしい。代り映えのない日常を過ごしていたが、体験を通して自然への大切さと地域の人との関わりがもてた。地球温暖化が深刻化しているけれど、自分で何かできることはないかと考えて花いっぱい運動に参加した。将来看護師になるために今日の活動を活かしこれからもボランティアをしたい。豊洲の町を色とりどりに! 地域の人たちとボランティアをすることがなかったのが今日の花いっぱい運動はとてもいい経験になった。

3. ガーデニング(球根の植え付け)を体験して

1年 膨らんでいる方を前にして球根2つ分掘ってから植えると根が安定するのではないかと考えながら植えた。小1の時に学校でチューリップの球根を植えたことを思い出しながら6年ぶりに植え付けを体験した。自然との触れ合いができてリフレッシュになり、学校や地域の役に立てたことでモチベーションもアップ。土を掘り、球根を植えて楽しかったので水やりを通して気持ちを込めて育てていきたい。成長が楽しみ。

2年 純粋にガーデニングをしたいと思い参加したが場所によって土の固さや湿り気などが違うのを感じた。球根を植え付けていたら歩道を歩いている人から「ありがとうございます。」と言ってもらえて嬉しかった。お花を植える楽しさを知り、地域や家のベランダなどでも植物を育ててみたいと思えるいい経験になった。

3年 家でもローズマリーやバジルを育てているが、久しぶりに土に埋める作業をしてリフレッシュできた。ボーイスカウトで野菜などをいっぱい植えてきたけれど、今日は久しぶりだったので気合いを入れてやれた。球根の植え方には細かいところにもやり方があることを学んだ。春に新入生が喜んでくれたら嬉しい。チューリップがどのように育つのか想像しながら植えることができた。達成感があり嬉しかった。毎日の通学路を通るときに植えたチューリップの芽が出ることを考えるととても楽しみだと思った。母とマンションで球根の植え付けを何度も手伝った経験を活かした。元気にすくすく咲いてほしい。咲いたチューリップを見るころには志望校に受かっているといいなと思ったので帰ったら勉強します。

生徒会・パイオニア隊のみなさん、ボランティアと球根の植え付け、そして感動をありがとう!

地域学校協働本部 [地域全体で子どもの学びを支え、学校を核として連携・協働して行う活動を推進する体制です
コーディネーター: 笹田雅子(主任) 西垣誠 池田かおり 岡本俊之 森田外茂子